

1	・生涯学習課はどのような活動を行うのか、また高齢化していく者の生涯教育をどのように支えるのか。 ・個展等を開く際には、生涯学習課の力を借りたい。 ・作品展示の申込みをしたが、役場から返事がなかった。小さな声でも返事をいただきたい。	生涯学習課	（生涯学習課長）文化協会については成り手不足の関係で活動が停滞中である。生涯学習課としては現在、文化財の保護や社会体育、スポーツ振興、公民館活動などに取り組んでいる。 広報に関して、戦略企画課とも相談しながら取り組んでいく。創作活動を通じた介護予防や健康づくりに関しては、健康はけん課で活動支援ができるため、横の連携をとっていく。 （副町長） 役場のロビーに展示をご希望されていたにも関わらず、回答をさせていただかなかったことについて、どのような行き違いがあったかわからないが、この場でお詫びさせていただく。今後このようなことがないように、展示のことだけではなく、相談に対しては、できる、できないに関わらず、速やかに連絡をすることが町民の皆さんとの信頼関係を築くことにつながると考えている。今後気をつけていきたい。	
2	防災行政無線で人工音声を使用することによる役場にとってのメリット、費用対効果を教えてほしい。 ・人工音声を使うことで、経費などの削減がされるのか。 ・今までのような職員による呼びかけは 経費がかかるとか、そういうことなのか、教えてほしい。	総務課	（町長） 私も聞き取りにくいと感じた。担当職員には分かりやすい音声进行心がけるよう指示したが、今後も聞き取りやすくなるように指導していく。 （総務課特命監） 人工音声の件に関して、従来は防災行政無線、おおだナビ、町ホームページで3人必要だったものが、システムに入れることで、迅速に情報提供ができるようになる。	
			（総務課長）現在行政業務全体でDXの推進が求められており、人工音声を導入したことにより、職員数の削減や町全体の財政の負担軽減が期待される。	
			（総務課特命監）人工音声は、音声スピードを70%や75%などに変更可能で、長い話は速く、短い内容はゆっくり伝えるなど、イントネーションを確認しながら職員に周知している。今後も対応を改善し、より良い放送を目指す。	
3	県道422号から丸山公園まで、道幅が狭く、対向できない。秋になると観光客が増えるため整備してほしい。 また、駐車場がなく県道沿いに駐車する人もいるため駐車場も整備してほしい。	産業課	（産業課長）産業課と下真手区は、今年度の駐車場確保や道路拡幅の対応について協議を進めている。まずは真手地域総合センターのグラウンドを休日に駐車場として利用し、案内看板を設置して渋滞緩和を図ることを検討している。平日はグラウンドを他の目的で利用するため、車を誘導しないようにする。今後、状況を見ながら別途駐車場の確保についても検討していく予定である。	
	観光客に駐車場までの距離やトイレの有無など、お盆や、秋口までに周知してほしい。住民にもあらかじめ通知も必要ではないか。		（産業課長）看板について検討し、下真手区に設置案を示したい。観光客には観光協会や町のホームページで現状を周知し、地元迷惑をかけないよう努めるので、ご理解をお願いする。	
4	中山間地の補助金が不足しており、面積当たりの補助額を増やしてほしい。	産業課	（産業課長）現在、中山間地域等直接支払交付金は国が2分の1、県が4分の1、町が4分の1の割合で支給され、反あたり約2万円となっている。これは国の第5期対策に基づくもので、令和6年度まで実施される。来年度からは第6期対策が始まる予定であるが、新聞報道等では補助金が1000円程度引き上げられる見込みとのことである。また、町は農業コミュニティに対しても補助金を上乗せしているが、60歳未満の新しい担い手がないため、該当者が少ない地域があり、その解決策を検討している。	
5	獣害対策の補助金が2年前までは全額で最大10万円だったのが、現在は半額になっているため、予算的な理由も考慮しつつ、以前の制度に戻してほしい。	産業課	（産業課長）獣害対策については町内全域での問題であると認識しており、令和2年度から令和4年度まで10/10の補助金を出している。この期間で約7000万円を支出し、多くの希望者に支給できたと判断し、補助率を10分の10から以前の2分の1に引き下げた。しかし、獣害被害は依然として続いているため、今後も財政と協議し、支援策を検討したいと考えている。	
6	農産物を6次産業に進めるために、加工場の設置を希望する。現在の工房は利用者が限られているため、予約制の施設を作してほしい。地域の活性化と耕作放棄地の減少を目指して努力したいので、補助をお願いしたい。	産業課	（産業課長）江馬のむらびと工房は現在満室で、新たな加工施設の設置は財政的に厳しく、すぐには実現できない状況である。しかし、6次産業化に向けた商品の開発や販売網構築に対しては町の補助金制度があるため、詳細については後日ご紹介させていただく。	各種補助制度について、該当者に紹介しました。
7	学校の先生の負担が増加している現状に対し、地域の人々のサポートが必要である。また、宮川中学校の生徒数が減少し、希望するクラブ活動が難しい状況がある中で、宮川中学校とのクラブ活動の検討を進める必要がある。その検討に3年をかけるという方針に対して、早急に結論を出してより良い方向に進むべき。	子ども教育課	（子ども教育課長）クラブ活動の合同化や地域移行について、来年度の夏頃までに結論を出す予定である。一方で、町内全域の小中学校のあり方については、今後3年かけて検討していく方針である。この検討期間については、子供の数の減少を考慮したものです。クラブ活動に関しては早急な結果を出す必要があると考えている。	

	中学校の問題については、自分たちとか中学校に入ってこういうクラブ活動をしたというような考えが、生徒が少ないためにできないというようなことを聞くと、1番楽しいクラブ活動の、中学校の3年間に、嫌々クラブ活動をすることは、可哀そうだと思う。早く結論を出していただけないか。		(町長) あり方検討委員会を設置し、3年かけて検討していく計画であるが、少しでも早く進められるよう、取り組んでいく。	
8	フォレストビアの飲食メニューについて、フランス料理に偏りがあることへの不満がある。和食の提供を望む。フランス料理の代替案についての議論が行われているか。また、観光客や地元の人々を引き寄せるために足湯を設置してはどうか。	産業課	(産業課長) フォレストビアの料理長がフランス料理にこだわっているが、産業課からは和食や大衆食を取り入れ、レストランを活性化させることを提案している。宮川観光振興公社が運営しているため、今後も改善に向けた協議を続けたい。また、足湯の提案については設備投資が必要であり、現在の運営状況からすぐには対応できないことをご理解いただきたい。	
9	トレーニングルームの利用者が少ないことが気になる。多くの人が知らないようなので、健康づくりに役立つ施設をもっとアピールしてほしい。	健康ほけん課	(健康ほけん課長) 健康づくりを促進するためにトレーニングルームを活用し、機械を使った体力アップやフレイル予防に力を入れている。月1回の運動相談会では、理学療法士が器具の使い方や鍛えたい部位に応じたトレーニング方法について指導している。利用者数は徐々に増加しており、今後も教室の周知を進めていく。	
10	個人が意見や質問を迅速に行えるシステムの導入や、議会の報告をYouTubeで視聴できないか。	戦略企画課	(戦略企画課長) 議会中継にYouTubeやLINEを導入する提案に対し、安芸高田市長の東京都知事選でのYouTube活用を参考に、有効性を認識している。これらの方法について、具体的な実施方法を検討する。	
11	鮎の冷水病により、例年大規模な鮎の死が発生しており、漁業に影響を与えている。原因の究明を求める。また、琵琶湖の鮎の遺伝的弱点が関与している可能性があり、他の成功例を参考にして鮎釣りを復活できないか。	産業課	(産業課長) 昨年は冷水病の影響を受け、宮川漁協と上流漁協で5～6回の放流を行った。今年は昨年ほどの発生はないが、6月中旬に発生し、鮎が浮いていることを確認しているが、現在のところ追加放流までは行っていない。原因は不明だが、漁協や三重県の専門機関と協力し、原因究明と改善に努めていく。	
			(町長) 冷水病は輸入されたマスから日本に持ち込まれ、琵琶湖を経由して各県に広がった病気である。一度河川に入ると、元々生息していた魚にも感染し、潜在的に存在し続ける。水温が17～18度になると病気が表れ、特に18度で強くなる。23度を超えると菌は死滅するが、夏から秋にかけては冷水病が流行しやすくなる。感染した魚を食べても体温で菌は死ぬため、安全である。大雨や台風が続いた年は冷水病が再び流行することが多いとされている。	
12	バス停の間に「フリーバス停」を設け、利用者が手を挙げて乗車できる仕組みはどうか。歩けない人のために、バス停からバス停までの途中にフリーバス停を設置することができれば、助けになるのではないか。	生活環境課	(生活環境課長) 現在、公共交通に関する地域の要望が増えており、特に買い物後の荷物の運搬が大変との意見が多い。フリーのバス停の導入を検討しているが、道の狭さやカーブが多いため、安全面での協議が必要であり、全ての場所での実施は難しい。町営バスの小型化やフリー乗降の仕組みなど、さまざまな手法を考慮しながら検討する。	
			(町長) バス停を設置するには運輸局の許可が必要で、手続きに時間がかかるため、すぐには完成しないと思われるが、できるだけ早く進めたい。	
13	委託業務において、サイバー攻撃によって個人情報の漏洩が懸念されている。特に、委託した企業が攻撃を受けるリスクが高く、国や地方が連携して個人情報を守る必要がある。町の委託業務契約について、業者のセキュリティチェックはどのように行われているか。	戦略企画課	(戦略企画課長) 住民票などの個人情報について、専用回線を使用して業者と情報をやり取りしているため、サイバー攻撃による漏洩はないと認識している。外部インターネットと繋がるパソコンも使用しているが、個人情報業務とは別回線で運用しており、情報漏洩防止に注意を払っている。具体的な個人情報漏洩のリスクについては、詳細な資料を調査する必要があるため、今すぐ説明することは難しい。	
14	個人情報がマイナ保険証と運転免許証の一体化によって漏れる可能性が増していることが懸念されており、これに対する十分なチェックと防衛策が必要ではないか。	戦略企画課	(戦略企画課長) 自治体間ではLGWAN回線という専用回線を使用しているため、安心だと考えている。	
15	・自主防災組織は下真手区にあるのか ・町内にいくつの組織があるのか ・集会所の修繕などの補助金はあるのか	総務課	(総務課特命監) 自主防災組織については、町内で47組織あり、下真手区も登録している。補助金などについては、改めて説明させていただく。	ご質問を受けた下真手区長に対して、自主防災組織に係る相談や集会所の修繕に係る補助金制度について説明し理解していただきました。
16	町の問題や改善策について活発に意見を出しているが、区への対応が不十分で意見が取り上げられない状況が続いている。自主防災活動を行おうと試みたが、区長が積極的に動かなければ他の住民も協力しないため、区長に対する教育や啓発の重要性を感じている。特に、高齢者や一人暮らしの住民に対する取組が必要。	総務課	(総務課特命監) 区長に対して自主防災組織に関するアンケートを実施し、困りごとの把握に努めている。組織の防災活動を活発化させるための支援に関する意見も聴取している。今年は三瀬谷地区を対象に総合的な防災訓練を計画中で、避難所の開設なども検討している。県や町、消防署、警察との協力も進めており、参加を呼びかけている。	

17	健康保険証がマイナンバーカードに変わることにについて高齢者への徹底周知が必要では。	健康ほけん課	（健康ほけん課長）国民健康保険証と後期高齢者医療保険証が、8月1日から新しいものに切り替わる。新しい保険証は既に各家庭に発送されており、12月2日からはマイナ保険証が利用可能となる。また、7月の広報では、マイナ保険証への切り替えについて詳しく特集している。新しい保険証は来年の7月末まで有効で、8月1日以降はマイナンバーカードを持っていない人にも資格確認書が提供されるため、医療機関の利用に問題はない。	
18	高齢者が健康保険証の新しい情報を理解するのは難しいため、単に文書を送るだけでなく、役所に来て質問できる機会を設けるべき。	健康ほけん課	（健康ほけん課長）新しい保険証をお届けする際に、詳細を記載したカラーのチラシも同封している。また、窓口や広報誌、自宅へのチラシなど多様な方法でお知らせしているので、そちらも確認してほしい。	
19	若者が定住するために、土地を簡単に探せる仕組みが必要。空き家情報を提供しているサービスがあるものの、実際には余剰地が多く存在し、年配の住民は不要になった土地を高値で売りたいと思い、若者は安値で買いたいが高値を言われることが多い。若者が安心して家を建てられる土地探しができる情報や仕組みの整備を望む。	生活環境課	（生活環境課長）定住施策の一環として、AWAプロジェクトに空き家バンクの運営を委託し、増加する空き家を活用するための取組を行っている。空き地の登録も可能だが、実際には利用が少なく、認知度も低いかもしれない。下真手の農地が将来的に住宅団地になればとのご意見をいただいたが、場所も良くPRもしやすいかと思う。空き地の利活用を促進するため、情報発信を強化し、空き地の登録を進めていく。	
20	【返答不要】 道路の端にブロックが積んであり、夜に走ると端が見えにくいと感じている。友人もブロックに乗り上げた経験があるため、反射板を増やすか、より良いものにしてほしい。	建設上下水道課		